

【所属名：総務部企画定住課】

【会議名：第4回糸魚川市総合計画審議会】

## 会 議 録

作成日 令和3年9月27日

日	令和3年9月24日(金)	時間	13:30~16:00	場所	市役所 2階会議室
件名	・審議事項 (1)第3次総合計画序論について (2)第3次総合計画基本構想について (3)第3次総合計画基本計画について				
出席者	【委員出席者 21人】 池田七菜、齋藤伸一、渡邊秀幸、榎木園薫、青木和人、松本香織、榊厚志 小林修、猪又千恵子、小野雅子、丸山理恵、木嶋貢、松木美沙子、保坂史子 磯貝誠、鈴木秀城、猪又直登、山岸喜治、斉藤直文、田中昌美、水嶋聡 【委員欠席者 5人】 仲林智志、山本習子、渡辺康太、龍見和弦、稲葉淳一 【事務局出席者 6人】 五十嵐総務部長 企画定住課（渡邊課長、中村課長補佐、内山係長、松澤主査、縄主査）				
	傍聴者定員		— 人	傍聴者数	— 人

### 会議要旨

<p><b>1 開会 (13:30)</b></p> <p><b>2 会長あいさつ</b> 8月の分科会において、基本計画の素案の審議を行った。分科会の開催から少し期間が開いたが、本日は、委員の意見を反映してまとめた基本計画の素案についても審議する。 本日の審議会を経て、審議会としての中間答申となる。より良い計画となるよう、忌憚のない意見をお願いしたい。</p> <p><b>3 審議事項</b> ・以降、総合計画審議会条例第6条第1項の規定に従い、鈴木会長に議長をお願いし進行。</p> <p><b>(1) 第3次総合計画序論について</b> ・企画定住課縄主査から、資料に基づき説明。 平成27年度に策定し、平成30年度に改訂した人口ビジョンの目標人口が現実の数字と乖離しているため、今回、総合計画の策定と合わせて目標人口の見直しを行いたいもの。</p>
--

**【質疑・意見】**

(会長)

- ・出生率は劇的に改善することはないのか。

(事務局)

- ・急激な改善は難しいと考えているが、本市は県内でも出生率が高い方であり、国の第1期総合戦略と同様に、2030年1.8、2040年に2.07を目標としている。

**(2) 第3次総合計画基本構想について**

- ・企画定住課縄主査から、資料に基づき説明。

**【質疑・意見】**

(委員)

- ・まちづくりの重点課題「人口減少対策」について、第2次総合計画では、人口減少対策を行うことが「急務です」と書かれている。今回、第3次の案では、「必要です」という書き方となり、取組の姿勢が弱まっている。後退したとも捉えられかねないので、表現を見直してもらいたい。

(事務局)

- ・意見を受け、表現を検討する。

(委員)

- ・2ページの計画のイメージ図がわかりにくい。

(事務局)

- ・イメージ図については、もう少しわかりやすいものにしたと考えている。

**(3) 第3次総合計画基本計画について**

- ・企画定住課縄主査から、資料に基づき分科会を受けて修正した点を中心に説明。

**【質疑・意見】**

(委員)

- ・31, 32ページの文化の継承について、施策の方向の②「伝統文化の継承と活用」に講座等学習の場の提供とあるが、具体的にどのようなことか。

(事務局)

- ・市内各所に伝わる伝統文化の継承を目的として、市民向けにその行事の由来や来歴、価値などを伝える講座を行うもの。

(委員)

- ・各項目の施策指標（K P I）がわかりにくい。もう少し具体的にした方が良いのではないか。また、各施策に対応したK P Iが必要ではないか。

(会長)

- ・各担当課でK P Iを設定してもチャレンジングなものにならない。もう少し、施策に取り組むにあたって目標となるようなK P Iとしてもらいたい。

(事務局)

- ・K P Iについては、事務局としても再度確認し、より適切なものとして考えている。

(委員)

- ・第2次と比較して、各項目での取組がイメージできる写真が増えたことで、わかりやすくなった。

・詳細な取組は実施計画として、明記してもらいたい。

(委員)

・14 ページのK P Iで「健康状態がよい中学生の割合」という表現がわかりにくい。

(事務局)

・表現を見直す。

(委員)

・21, 22 ページの質の高い学校教育の推進について、トピックに数字だけではなく、糸魚川の学校で行っている特徴的な取組の写真を載せてもらいたい。

(会長)

・市内に3高校を残すことが市としての目的なのか。

(委員)

・中学校から市外の学校に通う子ども達が増えてきている。中学校は市立なので、市が介入できる。中学校の魅力向上にも取り組んでももらいたい。

(委員)

・47, 48 ページの観光の振興について、基本方針が漠然としていてわかりにくい。施策の方向についても、これからは滞在時間を延ばすことと旅行単価を上げるための商品造成が重要ではないか。

そのような視点で施策の方向を検討してもらいたい。

(委員)

・観光情報の発信は幅広く、多方面に多角的に進めてもらいたい。

(委員)

・54 ページのK P Iに生産年齢人口割合を挙げている。趣旨は分からないではないが、これから減っていくものを指標にあげなくてもよいのではないか。

もう少し、若者定着に合った指標はないか。

(委員)

・生涯学習の項目には大人の学び直し、若者定着にはリカレント教育、重点項目の教育は0～18歳がターゲットのようだが、大人の教育の観点を少し整理してまとめた方がよいのではないか。

(委員)

・34 ページのワーク・ライフ・バランスの推進について、手厚く施策を進めてもらいたい。

(委員)

・野焼き防止の観点を追加してもらいたい。

(事務局)

・消防が環境に分類されると思うが、追加を検討したい。

(委員)

・CO<sub>2</sub>の排出抑制について、家庭からの排出抑制についても触れることはできないか。

(副会長)

・高齢者の特殊詐欺について、第5章の防犯分野に記載されているが、高齢者支援という観点から第1章にも追加できないか。

・52 ページの男女共同参画のK P I「審議会等に占める女性委員の構成割合」の最終目標が40%となっているが、50%を目指さないのか。

(委員)

・「消防救急体制の充実」の項目に、40 mmホースを使った地区の消火訓練や子ども消防隊の訓練の様子がわかる写真を追加してもらいたい。初動態勢が重要なので、住民でも消火栓を使って初期消火ができるということを視覚的にわかるようにしてもらいたい。

(委員)

・立地適正化計画では、糸魚川駅周辺に公共施設を誘導する計画になっているが、低い土地のため、災害に弱いのではないか。また、中山間地域が取り残されるのではないかと心配される。

(委員)

- ・協働の取組で挙げられている各団体にも計画がまとまったら、示してもらいたい。
- ・「農業の振興」に「2 飢餓をゼロに」のSDGsのゴールを追加してもらいたい。

#### ・重点項目について

・企画定住課内山係長から、資料に基づき重点項目及び重点戦略事業について説明。

具体的な事業については、庁内で最終調整を行っており、中間答申までに正副会長と協議し、まとめさせていただく。

(委員)

・健康づくりには、社会保障費の抑制といった観点も入れてもらいたい。また、地域経済については、持続的に発展していく必要があるので、それに向けてどのような取組が必要か記述してもらいたい。

(委員)

・地域経済か教育に子ども達にとって魅力ある仕事づくりの観点についても記述してもらいたい。

## 4 その他

・事務局から今後の進め方について説明。10/7に中間答申をいただき、10/15からパブリックコメントを募集する。市議会には11/1,2に説明し、いただいた意見を反映し、11/10頃に第5回審議会を開催し、最終答申に向けて審議を行う予定としている。

(委員)

・製本時の表紙のレイアウト等について、審議会として意見できるのか。

(事務局)

・審議会で審議いただくのはあくまで計画の中身となるが、レイアウトについても候補を何点かお示しして、意見をお伺いするということはできる。方法について検討したい。

## 5 閉会

(副会長)

長時間にわたりご審議いただき、ありがとうございました。

本日をもって一旦中間答申となるが、審議会としての意見はまだ反映できるとのことなので、お気付きの点があれば事務局に出してもらいたい。